

平成 29 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 テ ラ 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 矢 崎 雄 一 郎
 (コード番号： 2191)
 問 合 せ 先 取 締 役 CFO 小 塚 祥 吾
 (電話：03-5937-2111)

平成 29 年 12 月 期 第 2 四 半 期 連 結 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異 及 び 平 成 29 年 12 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成29年2月14日に発表した平成29年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月14日に発表した平成29年12月期通期連結業績予想を下記の通り修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正

(1)平成 29 年 12 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結 業 績 予 想 数 値 と 実 績 値 と の 差 異 (平 成 29 年 1 月 1 日 ~ 平 成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	745	70	50	△270	△19.29
実績値 (B)	638	△101	△125	△318	△21.67
増減額 (B - A)	△106	△171	△175	△48	—
増減率	△14.2%	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年12月期第2四半期)	1,051	△169	△186	△256	△18.30

(2)平成 29 年 12 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 29 年 1 月 1 日 ~ 平 成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	1,720	100	80	△350	△25.01
今回修正 (B)	1,370	△120	△150	△360	△24.47
増減額 (B - A)	△350	△220	△230	△10	—
増減率	△20.3%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成28年12月期)	1,801	△621	△667	△918	△65.65

2. 修正の理由

(1) 平成29年12月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異について

細胞医療事業において症例数が伸び悩んだこと、医療支援事業で細胞培養関連装置等の受注販売が想定より少なかったことにより、売上高は前回予想数値を下回りました。さらに、各段階利益につきましては、細胞医療事業において、経営構造改革による固定費削減が実現したことなど、医薬品事業セグメントを除く収益事業セグメントでは営業赤字体質から黒字体質への転換に成功したものの、2016年度末に未回収の延滞債権の回収予定が下期以降に延期となり、貸倒引当金の取崩し処理を実施できないこととなったため、予想数値を下回ることになりました。

(2) 通期連結業績予想について

上記第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況に加え、第3四半期及び第4四半期においても、細胞医療事業において、症例数が伸び悩むこと、医療支援事業で細胞培養関連装置等の受注販売の減少が予想されることにより、売上高は、前回予想数値を下回る見込みです。各段階利益につきましては、2016年度末に未回収の延滞債権の回収について、一定額の回収は見込めることから、貸倒引当金の取崩し処理を実施できる見込みであるものの、売上高の減少による売上総利益の減少が予想されるため、前回予想数値を下回る見込みです。

以 上

(業績予想に関する注意事項)

本資料に記載しました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化などにより上記予想数値と異なる可能性があります。